

レファレンスだより 2019年11月号 No.204

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数（2019年8月分）

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
84	2,074	751	598	496
国際	国連	こども	ホビィユア	合計
500	69	1,079	953	6,604

（開館日 24日 一日平均 275件）

今月の特集!

研究しよう!

図書館資料を利用して研究をはじめませんか?

独学からはじめよう



『東大教授が教える独学勉強法』

（柳川 範之／著 草思社 2014年）分館所蔵 379/ヤ/
文庫版あり 1階 Y55 YB379.7/ヤ/YA

『独学の精神』

（前田 英樹／著 筑摩書房 2009年）1階ポ66 379.7/マ/

研究してみよう!



『独学で歴史家になる方法』

（礪川 全次／著 日本実業出版社 2018年）分館所蔵 201/コ/
『考古学研究調査ハンドブック』シリーズ

（松下 まり子他／著 同成社 2004～2015年）2階B10, 2階E7
『趣味からはじめる昆虫学』（熊澤 辰徳／編 オーム社 2016年）
分館所蔵 486/シ/

『オーラル・ヒストリー入門』（御厨 貴／編 岩波書店 2007年）
2階B9 一般書 207/オ/

在野の研究者になる



『在野研究ビギナーズ： 勝手にはじめる研究生活』

（荒木 優太／編著 明石書店 2019年）2階B4 002/7/

※在野で様々な分野の調査・研究している方々の多様なスタイルを紹介した資料です

『ニコニコ学会βを研究してみた』

（江渡 浩一郎／編 河出書房新社 2012年）分館所蔵 002/ニ/

※研究者をめざす読者のためのブックガイド:p255～261



こんな質問がありました！

Q：なぜ宿題には「宿」の字を使うのか。家でおこなうので「家題」でもよいのでは？（人文科学）

- 『世界大百科事典』13（平凡社 2009年）2階C1 R031/ㄗ
 「宿題はもともと即題、席題の反対の概念で、前もって与えておく問題、解決されずに残された課題という意味である。俳諧、連歌などの用例が、学校教育に転用されたのであろう。当初、宿題という用語は一般的でなく、復習、予習の指示として始まった。」
- 『大言海』（大槻 文彦／著 富山房 1982年）2階B1 R813.1/ㄗ
 「詩文ノ題二、会日ノ数日前ニ出シ置キテ、作ラシムルモノ。」
- 『日本国語大辞典』（小学館国語辞典編集部／編集 小学館 2006年）子供参考図 R81/ニ
 「前もって課題を与えて考えさせる問題。特に、詩会などで、前もって出しておく題。」
- 『大漢和辞典』巻3（諸橋 轍次／著 大修館書店 1984年）2階C1 R813.2/ㄗ
 「あらかじめ出しておく題。」
- 『日本語源広辞典』（増井 金典／著 ミネルヴァ書房 2010年）2階B1 R813.6/ㄗ
 「語源は、「宿」（やどす）＋題（課題）です。」
- 『学研レインボー小学漢字辞典』（石井 庄司／監修 学研 1996年）子供参考図 81/カ
 「前からの。」



Q：火災時に鳴らす火の見櫓の鐘が、火事の距離などによって鳴らし方が違ったと思う。その鳴らし方についての資料はないか？（社会科学）

■「消防団」「火の見櫓」「鐘」「鳴らし方」等のキーワードで所蔵資料を調べる

- 『消防団の源流をたどる』（後藤 一蔵／著 近代消防社 2001年）2階D9 317.79/ゴ/
 『消防団120年史』（日本消防協会／編 近代消防社 2013年）2階D9 317.79/シ/…・①
 『写真図説消防史』（国書刊行会／編 国書刊行会 1984年）2階D5 R317.79/シ/

■鳴らし方の決まりについて

資料①p112に

「火の見櫓又は火の見梯子に吊り下げてある半鐘を打鐘することにより（中略）その打鐘点数により火事の遠近、緊急出動又は応援出動、鎮火等を表すのですが、半鐘の打ち方、消防信号については、都市部、農漁村等の地域の特性や気候の関係で、勅令消防組規則が交付されるまでは、各地区独自に決められていました。これが内務省令消防組規則施行概則第9条で、「水火災ノ信号及び信号担当者ハ最速ヲ以ッテ定ムヘシ」と規定され、各府県の細則において、半鐘の打ち方、信号が統一されました。」とあり。

火の見櫓の鐘は半鐘とよばれ、その鳴らし方が打鐘信号、消防信号と呼ばれていることは掲載されている。

『火の見櫓 : 地域を見つめる安全遺産』（火の見櫓からまちづくりを考える会／編 鹿島出版会 2010年）1階ポ67 317.79/ㄗ/

表紙力バーに静岡県森町三倉、栃木県下野市石橋の消防信号の看板写真があり。半鐘の鳴らし方は、この写真により確認することができる。



Q：小さい水車の作り方が載っている資料はあるか。ペットボトルをつかわないものがよい。雨どいを利用して水力発電をしようと考えている。（自然科学）

■水車のつくりかたが載っている資料を参照する

『NHK やってみようなんでも実験 第4集1』（理論社 1999年） 1階子3 40/E/
『親子でつくる自然エネルギー工作 3』（川村 康文／編 高橋 真樹／写真・文 大月書店 2014年） 1階子6 児童書 50/オ/

児童書。水道や風呂水を使って水力発電の仕組みを学ぶための工作が紹介されている。水車の材料は乳酸菌飲料容器などを利用。

■小規模水力発電の資料を参照する

『これからやりたい人の小型水力発電入門 改訂版』（千矢 博道／著 パワー社 2013年） 2階E 1 4 543.3/フ/

第三章 水車（P P60-77）に水車の種類や選定について記述あり。

小規模水力発電に関する資料は上記以外も参照したが、水路や溪流の利用を想定したものが多く、雨どいでの水力発電に関して記述のある資料は見つけられなかった。



Q：精進料理の作り方（レシピ）を英語で紹介している本を見たい。（国際）

■家庭でも料理できるように作り方を紹介している本

Soei Yoneda with Koei Hoshino “Good food from a Japanese temple” (kodanshaInternational, 1982) 2階 A20 F100ENG/596.21/YO

Soei Yoneda with Koei Hoshino “Zen vegetarian cooking” (Kodansha International, 1998) 2階 A20 F100ENG/596.21/YO

臨済宗の米田祖栄禅尼による英文の精進料理本。四季の季節別に代表的な精進料理のレシピを紹介。

『家庭で楽しむ精進料理：英文版』（藤井まり／著 浜村多恵／撮影 講談社インターナショナル 2005年） 2階 A20 F100ENG/596.21/FU

簡単に自宅で作れる精進料理 61 レシピを紹介・収録。

Danny Chu “Shojin ryori : the art of Japanese vegetarian cuisine” (Marshall Cavendish Cuisine, 2014) 2階 A20 F209ENG/596.21/CH

海外でも、簡単に家庭で作れる精進料理を紹介した本。

■その他、日本の野菜料理本

Elizabeth Andoh “Kansha : celebrating Japan’s vegan and vegetarian traditions” (Ten Speed Press, 2010) 2階 A20 F702ENG/596.21/AN

『Vegetarian Sushi Secrets』（マリサ・バジェット／著 チャールズ・イー・タトル出版 2016年） 2階 A20 F100ENG/596.3/SA

Patricia Richfield “Japanese vegetarian cooking” (Crossing Press, 1996) 2階 A20 F702ENG/596.21/RI

『究極のエイジャン・ベジタリアン・レシピ：英文版』（ヘーマ・パレック／著 講談社インターナショナル 2007年） p.39-64, 2階 A20 F100ENG/596.37/PA



※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊!

『平成の新語・流行語辞典』

(米川 明彦／著 東京堂出版 2019年) 2階B1 R814.7/3

今年元号が平成から令和に変わりました。そこで、この機会に平成30年間を一気に振り返ってみるのはいかがでしょうか。この本は平成元年から31年までの間に生まれた新語と流行語、約1400語を年ごとにまとめ、初出や造語者の情報、使用例などを交えて詳しく解説したことば辞典です。各年の冒頭にはその年の出来事や、ヒットした本・商品・音楽・映画等も記載があります。

使ってみました ⇒ 「超(ちょ)～」という言葉はいつ頃使われはじめたのか?

見出し語索引で、「超(ちょ)～」をみると、94年p117とあり、該当ページをみると、言語表現として右記解説がある。「～を超えた。若者ことばの“超”(非常に)から転じて書籍名などに使うことが流行した。その最初が野口悠紀雄『「超」整理法』(中央公論社、1993年11月)である。」

1994年(平成6年)から使われたとして、すでに25年も使われているとわかりました。その年は、リレハンメル冬季オリンピックが開催され、松本サリン事件が発生したと、その年の出来事として記載がありました。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	林芙美子全文業録 : 未完の放浪	廣畑 研二／著	論創社	910.26/ヒ
	ベストセラー全史 近代篇 (筑摩選書)	澤村 修治／著	筑摩書房	023.1/サ
社会	LGBTIの雇用と労働 : 当事者の困難とその解決方法を考える	三成 美保／編著	晃洋書房	366.38/ミ
	47都道府県・商店街百科	正木 久仁／編著 杉山 伸一／編著	丸善出版	672.1/ヨ
自然	エネルギー400年史 : 薪から石炭、石油、原子力、再生可能エネルギーまで	リチャード・ローズ／著 秋山 勝／訳	草思社	501.6/ロ
	本当に知ってる?細胞を培養する方法	古江 - 楠田 美保／編著	じほう	491.11/フ/



今月の展示 ~総合図書館2階 展示図書のご案内~

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》 **ものの心の美**

《社会科学》 **広告**

《自然科学》 **農業**

《国際》 **イラン**

《1階 特設展示棚》 **読書週間**